

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 中部大学生命健康科学部保健看護学科
成人看護学 准教授 近藤 暁子 殿
- 2 . 演 題 肺がん患者について DPC 導入による
医療の質への影響
- 3 . 日 時 平成 2 3 年 6 月 6 日(月)
1 8 時 0 0 分 ~ 2 0 時 0 0 分
- 4 . 場 所 医療経済学教室 (M & D タワー 6 階)
- 5 . 内 容

本講義では肺がん患者について、DPC 導入による医療の質と入院医療費への影響について分析した結果を紹介する。対象は 22 の日本赤十字病院に 2007 年 4 月から 2008 年 12 月の間に肺がん (MDC040040) で入院した患者 6895 名である。DPC 導入前後の患者のアウトカムは Difference in Difference analysis を使用して比較した。

DPC 導入後は根治的手術をより多く使用し、単価が増加していた。また、入院期間が短くなっていたが、患者のアウトカムが良好な診断群の患者の割合は増加していた。そこで患者要因と診断群を調整した所、DPC 導入後に退院時転帰は有意に改善し、再入院率は低下していたが、入院中の死亡率の有意な変化はなかった。

DPC 導入により医療の質に少なからず影響があったと言える。

連絡先 医療経済学分野 川淵 孝一 (内線 5931)